11　情報

学校番号	T2101

平成３１年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報※	単位数	2	年次	3
使用教科書	東京書籍「社会と情報」						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会と情報では、実技と座学の両面から学習を進めます。
実技ではパソコンそのものに慣れることを目標として、様々な機能を持つソフトウェアを使用して、その活用方法を習得します。
座学では、情報に関する基本的な知識を習得するとともに、情報社会に主体的に参画する力を身に付けるため、情報社会におけるモラルやマナーなど、情報社会と人との関わりについても学習を進めます。

2　学習の到達目標

・情報技術が人や社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用した効果的なコミュニケーションを実践することを通じて、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
・情報技術を適切に活用して情報の収集や整理を行い、日常の様々な問題の解決に役立てることが出来る。
・コンピュータやネットワークの仕組みについて理解を深め、それらを問題の発見・解決のため適切に活用できる力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報に関する科学的な見方・考え方について関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、情報社会に主体的に参画しようとする。	情報社会の問題を主体的に発見かつ明確化し、その解決策を考えるために、情報に関する科学的な見方や考え方を働かせ、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して判断し、表現している。	目的に応じて情報技術を適切に扱うために必要な、効果的なコミュニケーション手法を選択・実践する技能、およびコンピュータやデータを活用するための技能を身につけている。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決のために情報と情報技術を適切に活用するための知識を身に付け、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。
評価方法	学習状況の観察 学習プリントの記述 授業態度	学習状況の観察 学習プリントの記述 実技課題の達成度 定期考査の結果	学習状況の観察 課題作品チェック 実技課題記録チェック	学習状況の観察 学習プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前・後期	情報を活用する	● 情報とメディア ● 信頼できる情報と信頼できない情報 ● 情報の見極め ● 情報のディジタル表現 ● ディジタルデータの特徴 ● 情報の表現と伝達の仕組み ● 伝達や発表のための手段 ● 効果的なプレゼンテーション ✧ 静止画の編集・加工	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:情報の科学的な見方・考え方について関心を持つ。 b:情報技術の効果的な活用方法について、情報の科学的な見方・考え方をもとに判断し、表現できる。 c:画像編集、または音楽編集ソフトウェアを課題に応じて使うことができる。 d:情報技術が人や社会に及ぼす影響や、情報を受信・発信するときの責任を理解している。	授業観察 授業プリント 定期考査 課題作品
	ネットワークを探索する	● インターネットの仕組み ● WWWと電子メール ● 情報の検索 ● メディアの発達 ● 多様な情報発信 ● ネットコミュニケーションの特徴 ☆ データ量とデータの圧縮 ☆ 情報の検索	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:インターネット上の通信の仕組みや、情報メディアについて関心を持つ。 b:望ましい情報社会の在り方について、情報の科学的な見方・考え方をもとに判断し、表現できる。 c:画像編集、または音楽編集ソフトウェアやインターネットブラウザを課題に応じて使うことができる。 d:適切な検索手法やコミュニケーション手段、およびデータを効果的に活用するのに必要な知識を身に付け、様々な事象が情報とその結び付きであると理解している。	授業観察 授業プリント 定期考査 課題作品

	情報社会の課題を見つける	● 誰でも表現者・発信者の時代 ● 情報社会の影 ● 情報セキュリティ ● 情報モラル ● 情報社会と著作権 ● 個人情報の保護 ☆ 合成写真の作成	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○	○ ○ ○ ○ ○ 	a:情報社会における影の側面について関心を持ち、望ましい情報社会の構築に向けて意欲的に取り組んでいる。 b:望ましい情報社会について情報セキュリティや情報モラル、著作権保護の観点をもとに判断し、表現できる。 c:画像編集、または動画編集ソフトウェアを課題に応じて使うことができる。 d: 情報セキュリティや情報モラル、著作権に関する知識を持ち、情報を守るための手法について理解している。	授業観察 授業プリント 定期考査 課題作品
	望ましい情報社会に向かう	● 情報システムの種類 ● 情報システムの発展と進歩 ● 情報化と社会の変化 ● 情報システムの信頼性 ● 誰もが参加できる情報社会 ● 解決のステップ ● 実際に解決してみよう ☆ ピクトグラムの作成 ☆ 自己PRの作成 ☆ 身近な問題の解決	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:情報化によって生じた社会の変化について関心を持ち、望ましい情報社会の構成員として主体的に参画しようとしている。 b:情報社会の問題点を主体的に発見かつ明確化し、情報および情報技術を適切かつ効果的に活用して判断し、表現できる。 c:表計算、または文書編集ソフトウェアを課題に応じて使うことができる。 d:様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて理解するとともに、問題の発見・解決のために情報と情報技術を適切に活用するための知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 定期考査 課題作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。